PRU-A

消耗品・別売品のお買い求めについて

中せん・パッキンは消耗品です。（熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。）
6 ヵ月～1年を目安にご確認ください。
破損や汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

●お買い上げの販売店
●タイガーお客様ご相談窓口（下記「連絡先」参照）
●消耗品・別売品のご購入専用ホームページ（下記「連絡先」参照）

品名
中せん＊1＊2
パッキン

＊1 中せんは、パッキンつきです。
＊2 製品の色柄により異なります。

仕様

実容量		1.0L
保温効力	24時間	50度以上
	10時間	66度以上
外形寸法＊1		幅20.3×奥行13.9×高さ23.3cm
質量＊1		0.9kg

＊1 おおよその数値です。
※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯をせん下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから24時間及び10時間放置した場合におけるその湯の温度です。
※実容量とは、製品付属のせんをしたときに、実際に入る容量です。「安全上のご注意」に記載している「少なめ容量」ではありません。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧になりお調べください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

①製品名
②品番
③製品の状況（できるだけ詳しく）
④購入日

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先　タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-011101**
市内通話料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ
TEL（06）6906-2121

●受付時間　AM9:00～PM5:00　月曜日～金曜日　（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。
ホームページアドレス http://www.tiger.jp/
消耗品・別売品のご購入ホームページ　http://www.tiger.jp/shop.html

TIGER
タイガー魔法瓶

品番
PRU-A 型

テーブルポット

プッシュせんタイプ

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。

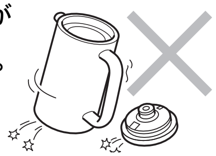
やけど・けがなどのおそれ。

傾けたり、横転させない。

内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

倒したり、落としたり、ぶつけたり、強い振動(特に上下の振動)、衝撃を加えない。

やけどや、中びんその他の破損・内容物がこぼれるおそれ。



コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。

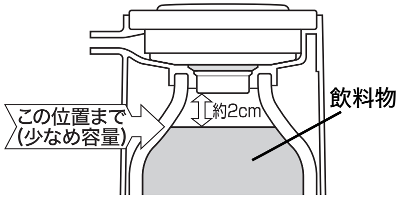
やけど・変形・変色の原因。

自動車の中では使わない。

やけど・汚れの原因。

飲料物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、プッシュボタンがかたくなったり、中せんをしめるときにあふれて、やけどや内容物がこぼれるおそれ。



飲料物の保温・保冷以外に使わない。

中せんは、確実に閉める。
飲料物を注ぐときは、必ず中せんが確実にセットされていることを確認する。

中せんが落下して、内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

注ぎ口に顔を近づけた状態や、本体を傾けた状態で、プッシュボタンを押さない。

飲料物や水蒸気が勢いよく出て、やけどのおそれ。

肩口部分に熱いヤカンをあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧があがり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、やけどなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。

また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、もれてやけどのおそれ。
麦茶、紅茶などを入れる場合は、充分こしてから入れる。

ななめに傾けたり、プッシュボタンを押したまま、持ち運びしない。

内容物がもれて、やけどのおそれ。

急熱・急冷はしない。

冷たいものを入れた直後に熱いものを入れたり、熱いものを入れた直後に冷たいものを入れると、中びんが破損するおそれ。

氷を入れるときは、飲料物を入れてから、本体を斜めにし、小さく砕いた氷をすべらせるように入れる。

中びんが破損するおそれ。

氷を入れた場合、本体を強くゆすらない。

中びんが破損するおそれ。

丸洗いしない。

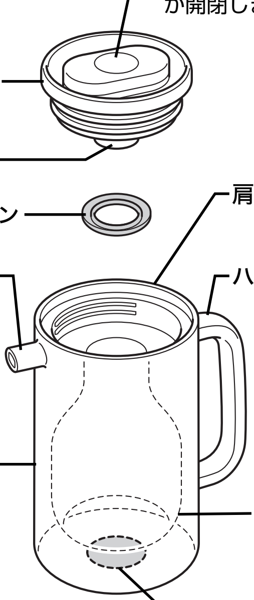
水の浸入や故障・破損、他のものを汚すおそれ。

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

各部のなまえとはたらき

※ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

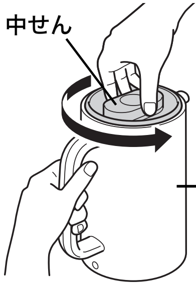


使いかた

1 中せんをはずす。

はじめて使うとき

中びん・肩口・中せんをお手入れする。→**P.6**

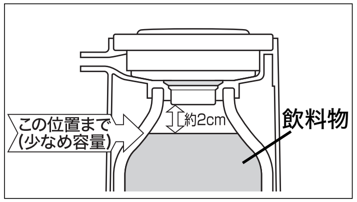


2 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1 ～ 2分予熱(予冷)する。

予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3 飲料物を入れる。

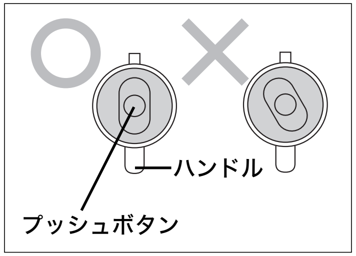
●飲料物は、入れすぎないように図の位置までにする。

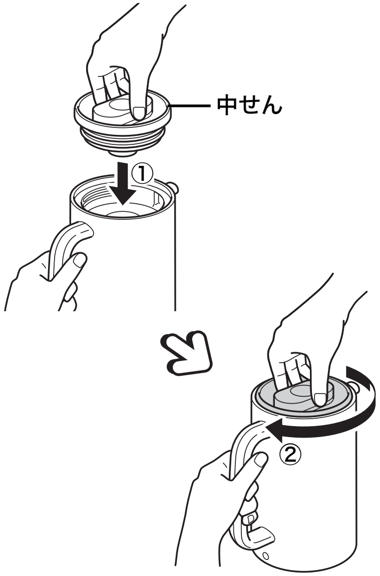


●中びんにはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどをおすすめします。(熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。)

4 中せんをしめる。

中せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。



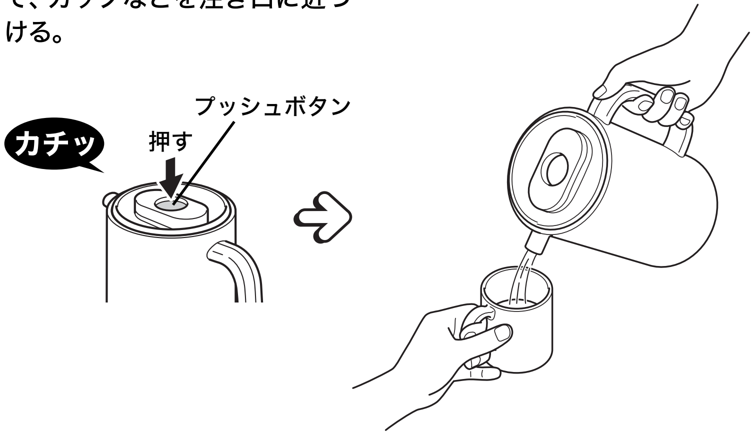


ご注意

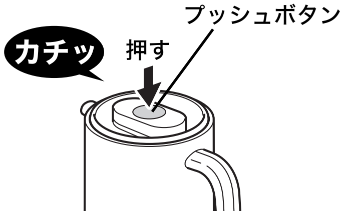
中せんをしめるときは、必ずまわらなくなる位置までしめる。しめかたが不充分な場合、プッシュボタンを押しても、せんの開閉ができない場合があります。

5 **プッシュボタンを押してから本体を傾けて、飲料物を注ぐ。**

飲料物がいっぱい入っているときは、少し傾けただけで出るので、カップなどを注ぎ口に近づける。



6 **注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立ててから、プッシュボタンを押して、元に戻す。**

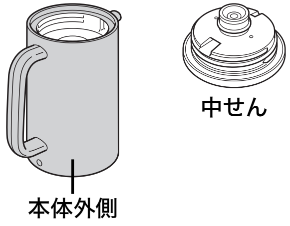


ご注意

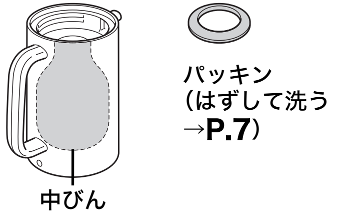
プッシュボタンを押し下げた状態で放置しない。
万一ポットが倒れた場合、内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。また、保温（保冷）効力の低下の原因。

お手入れのしかた

◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
◆洗剤は、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。



①洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってからふく。（丸洗いはしない。）
②乾いた布で洗剤分をふき取り、乾燥させる。



①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
②充分に乾燥させる。

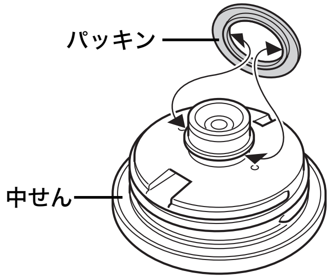
においを防ぐために

ご使用前や、お湯以外のもの（お茶や糖分を含んだものなど）を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。

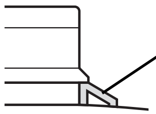
ご注意

●本体、中せんの丸洗いをしない。
●シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
●食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
●中せんのパッキンは必ず取りつける。→**P.7**
●長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンのはずしかた・つけかた



つけるときは、奥まできっちりはめ込む



キラキラ光るものが中びんに付着したときのお手入れ

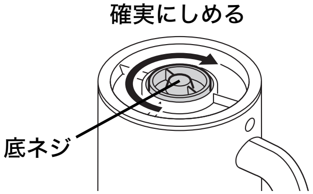
中びんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものを見つけることがあります。これは「フレークス」と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。
フレークス自体は、健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合、以下の手順でお手入れしてください。

①食酢をぬるま湯で約10%にうすめて中びんに入れる。
　または、クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて中びんに入れる。
　（食酢とクエン酸は同時に使わない。）
②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で充分にすすぐ。
③充分に乾燥させる。

※クエン酸は、お近くのスーパーや薬局でお買い求めください。
※中びんは、フレークスが発生しない場合でも、ときどき同じ方法でお手入れをしていただくと効果的です。

飲料物がもれたり、本体をゆするとカタカタと音がするときは…

本体の底ネジがゆるんでいることがあります。
すべての飲料物を出してから、本体を逆さにして、底の中央の底ネジを締めてください。



不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲料物が出ない、出にくい。	中せん・パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。→**P.4・7**
飲料物がもれる。	中せん・パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。→**P.4・7**
	中せん・パッキンが損傷していませんか。	損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→**裏表紙**
	飲料物を入れすぎていませんか。	入れすぎないようにする。→**P.1・4**
	本体をゆするとカタカタ音がしませんか。	本体の底ネジを締める。→**P.7**
	食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→**P.6**	
	落としたり、はげしい振動を加えていませんか。→**P.1**	
	プッシュボタンを押したときに、飲料物が飛び散ることを防ぐ構造になっています。そのため、プッシュボタンを押し下げていない場合でも、本体を傾けたときに注ぎ口からもれることがありますのでご注意ください。	
保温（保冷）が効いていない。	中せん・パッキンが確実にセットされていますか。	確実にセットする。→**P.4・7**
	熱い（冷たい）飲料物を入れていますか。	熱い（冷たい）飲料物を入れる。
	内容物の量が少なくありませんか。内容物の量が少ないと、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
	寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充分な保温（保冷）効果が得られない場合があります。	
中びんや中せんから異臭がする。	汚れが付着していたり、飲料物を長時間入れたままにしていませんか。	お手入れする。→**P.6・7**
プラスチック部分に線状や波状のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	